

水稻優良種子の安定生産支援

恵那市の三郷米麦採種生産組合は、岐阜県の2大水稻種子生産拠点の一つで、50戸の組合員が翌年度の県内の水稻生産に使う種籾を生産している。

優良種子の安定生産に向けて、巡回指導やほ場審査、栽培講習会を通じて指導・支援を行っている。



活動内容

1. 栽培技術の向上・高位平準化

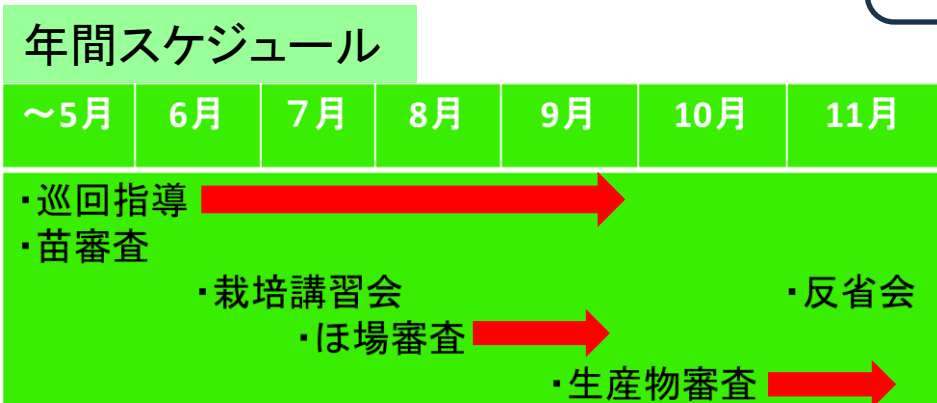
- ①生育調査による稲の生育及び病害虫の確認、原種生産者の重点巡回指導、栽培講習会での情報提供・技術指導
- ②苗審査やほ場審査での改善提案

苗審査指導

田植え前 揃い・病害虫などを確認

栽培講習会

雑草や病害虫対策について 情報提供



県種子審査要領

発芽率90%以上

合格 不合格

ほ場審査 (生育期間中2回) 生産物審査 (収穫後)

含まない 2本/mまで 含まない 2割まで

変種、異品種 ヒエ類、ホタルイ 馬鹿苗病 病虫害、気象害

厳しい基準をクリアした 種子の必要量確保

2. 「にじのきらめき」の栽培技術が見える化

- ・R7年度～高温耐性品種「にじのきらめき」新規生産
- ・栽培品種の追加による異品種混入のリスクあり！
- ・「コシヒカリ」と被らない作型 6月12日：田植え 9月30日：収穫
- ・栽培暦の作成 既存品種と異なり、多肥での栽培管理が必要

漏生稲対策：除草剤「エリジャン」使用、代かきと同時散布
 新規生産組合員への重点巡回指導

成果

1. 栽培技術の向上・高位平準化

種子審査合格率	契約数量達成率
99%	100%

※R3～R7年度実績平均

2. 「にじのきらめき」の技術の見える化

- ・除草剤等の効果により、漏生稲は確認されなかった
- ・収量 702kg/10a ⇒ 収量問題なし
- ・栽培暦完成 (6月上旬植え用)

◎今後の課題

- ・気候変動に対応した技術指導、契約数量達成率の高位維持
- ・次年度以降も「にじのきらめき」の栽培面積拡大に向けた漏生稲対策の徹底、収量や品質に影響しない作型の検討